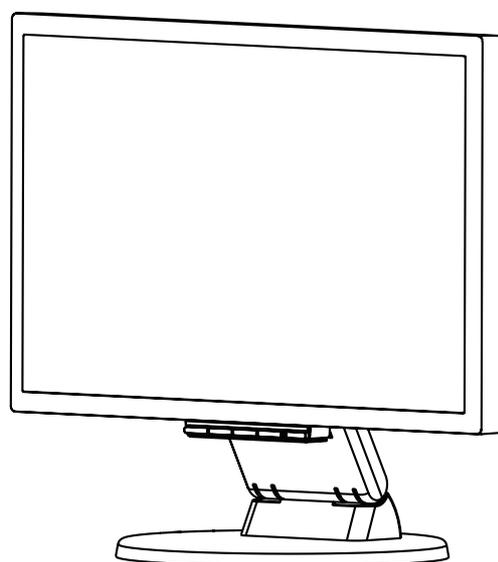
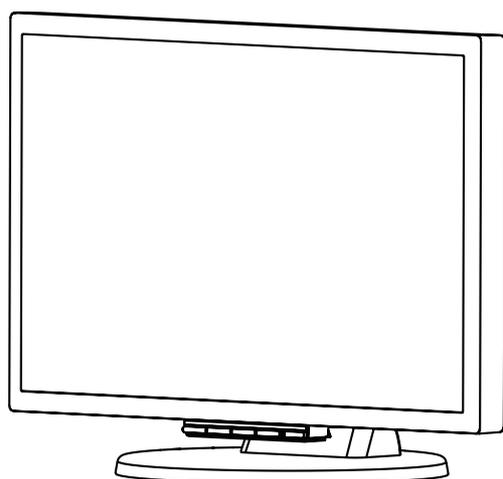


NEC

MultiSync®LCD205WXM
MultiSync®LCD225WXM

取扱説明書



安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ずアースリード線を接地（アース）してください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		高圧注意（本体後面に表示）

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き液晶ディスプレイを安全な場所に移動する!!

異常のまま使用すると、液晶ディスプレイの落下・火災・感電の原因になります。
 すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、液晶ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。



地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減する為に、転倒・落下防止対策をおこなってください。
 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。
 また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対してその効果を保証するものではありません。

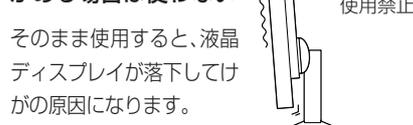
故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない



火災・感電の原因になります。

使用禁止

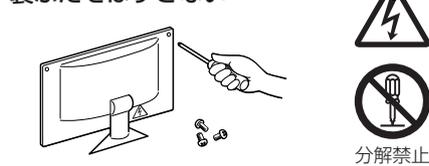
液晶ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない



そのまま使用すると、液晶ディスプレイが落下してけがの原因になります。

使用禁止

裏ぶたをはずさない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

分解禁止

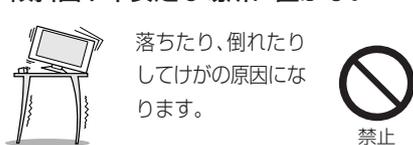
電源コードを傷つけない



重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

傷つけ禁止

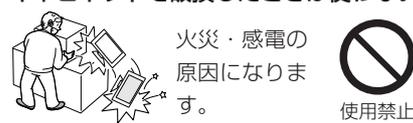
傾斜面や不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

禁止

キャビネットを破損したときは使わない



火災・感電の原因になります。

使用禁止

異物をいれない

特にお子さまにご注意



火災・感電の原因になります。

禁止

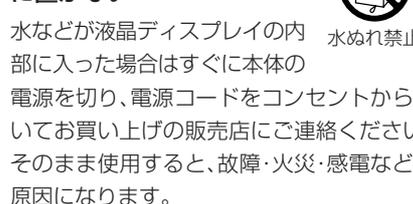
アース線を接続する

アース線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。



アース線を接続せよ

風呂場や水のかかるところに置かない



水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。

水ぬれ禁止

アースリード線を挿入・接触しない



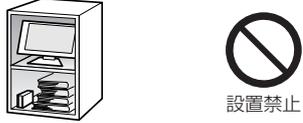
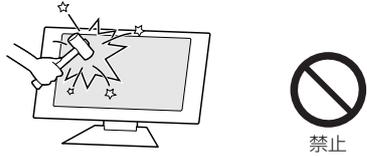
電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

禁止

警告

<p>正しい電源電圧で使用する 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。 お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。 本機に添付している電源コードは本機専用です。 安全のため他の機器には使用できません。</p>	<p>修理・改造をしない けが・火災・感電の原因になります。</p>	<p>液晶を口にしない 液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出した場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起す原因になります。 万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類についてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p>	
	<p>ポリ袋で遊ばない 特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p>	<p>禁止</p>	
	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない 感電の原因になります。</p>	<p>接触禁止</p>	

注意

<p>設置のときは次のことをお守りください。 風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。</p>		
<p>ディスプレイや置き台には乗らないでください。 また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因になります。</p>		
<p>狭い所に置かない</p> 	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p> 	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p> 
<p>布などで通風孔をふさがない</p> 	<p>車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p> 	
<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p> 	<p>屋外での使用禁止</p>  <p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用すると故障の原因となります。</p>	<p>液晶パネルに衝撃を加えない 破損してけがや故障の原因になります。</p> 
<p>電源プラグを持って抜く コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> 	<p>接続線をつけたまま移動しない 火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。</p> 	
<p>お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p> 	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> 	
<p>電源プラグを奥までさしこむ(日本用) しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となります。</p> 		

⚠ 注意

<p>1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。 内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>   <p>内部掃除</p>	<p>スタンドに指や手をはさまない 角度調節時に指や手をはさむとけがの原因になります。</p>   <p>ケガに注意 手の挟みこみに注意</p> <p>液晶ディスプレイを廃棄する場合 液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。 (→P16:本機を廃棄するには)</p>
<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる 火災の原因になります。 1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p>   <p>ほこりを取る</p>	<p>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</p>   <p>プラグを抜く</p>
<p>推奨の溶剤でお手入れする キャビネットおよびスタンドの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となります。 パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合はイソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。</p>  <p>使用禁止</p> 	

液晶ディスプレイの上手な使い方

<p>キャビネットのお手入れ お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。 溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。</p>  <p>プラグを抜く</p> 	
<p>液晶パネルのお手入れ パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。 溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。</p> 	
<p>上手な見方 画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40~70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	

⚠ 重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

ご使用前に

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

本機は付属の電源コード（日本用）および信号ケーブルを使用した状態で VCCI 基準に適合しています。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

本製品はスウェーデンの労働団体 TCO により定められた、低周波電磁界、エルゴノミクス、省エネルギー、環境保護に対する規格である TCO'03 に適合しています。

お知らせ

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

本製品のドット抜けの割合

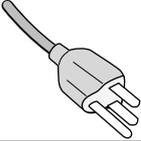
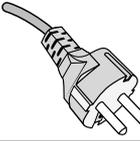
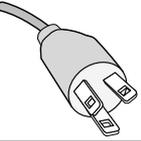
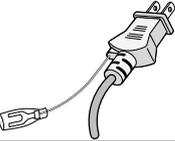
LCD205WXM	LCD225WXM
0.00015%	0.00009%

本製品は、ISO-13406-2 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO13406-2 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル（pixel）」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル（sub pixels）」となります。

つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

●電源コードは、以下の表を参考の上、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください

プラグのタイプ	北アメリカ用	欧州大陸用	英国用	中国用	日本用
プラグの形状					
使用国	米国/カナダ	欧州（英国以外）	英国	中国	日本
電圧	120	230	230	220	100

この商品に関する技術相談、アフターサービス等はお買い上げの国内でのみ有効です。

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

■乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Windows® は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

添付品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている添付品は以下のとおりです。
万一不足しているものや破損しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

- ・マルチシンク液晶ディスプレイ
- ・オーディオケーブル
- ・電源コード（仕向け地によって異なります）
- ・ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブル
- ・DVI-D—DVI-Dケーブル
- ・取扱説明書（本書）
- ・CD-ROM



取扱説明書



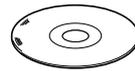
オーディオ
ケーブル



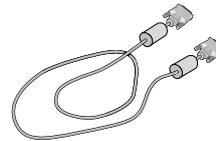
電源コード



信号ケーブル
(ミニD-SUB15ピン—
ミニD-SUB15ピン)



CD-ROM



信号ケーブル
(DVI-D—DVI-D
ケーブル)



マルチシンク液晶ディスプレイ

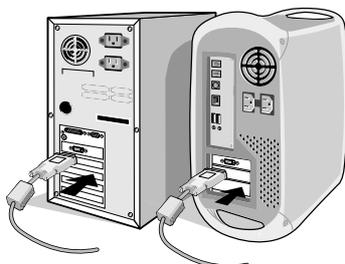
お願い

- 運搬する場合は、ディスプレイが入っていた梱包箱と緩衝材をご用意ください。

接続・設定

以下の手順に従って、本機を準備してください。

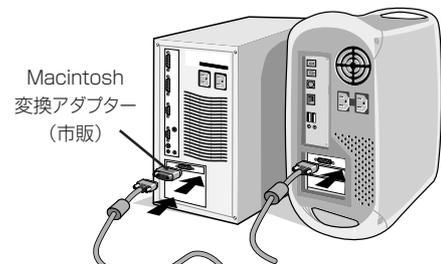
1. 電源ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
2. デジタル接続(コンピューター、Apple Macintoshシリーズコンピューター): DVI-Dケーブルをコンピューターのビデオカードに差し込み、ネジを締めます。(図1)
アナログ接続(コンピューター): ミニD-SUB15ピンケーブルをコンピューターのビデオカードに差し込み、ネジを締めます。(図2)
アナログ接続(Apple Macintoshシリーズコンピューター): ミニD-SUB15ピンケーブルをMacintosh変換アダプター(市販)に接続し、コンピューターのビデオカードに差し込み、ネジを締めます。(図3)



(図1)



(図2)

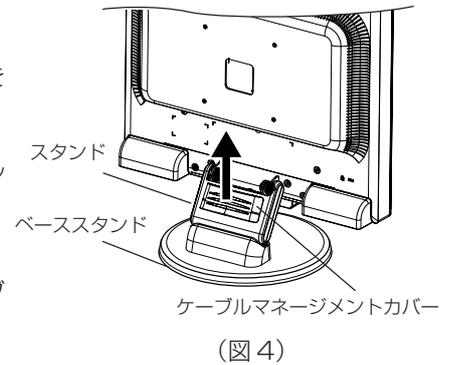


(図3)

お知らせ

- Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

3. ケーブルマネージメントカバーを取り外す。(図4)
4. 本体背面のコネクターにそれぞれの接続に対応したケーブル、ヘッドフォン(市販)を差し込みます。(図5)
5. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに差し込みます。電源コード、ケーブル類をしっかりとおさえ、ケーブルマネージメントカバーを取り付けてください。(図5)



お願い

- ケーブル類が交差しないようにしてください。ケーブル類が交差するとケーブルマネージメントカバーが取り付けにくくなることがあります。

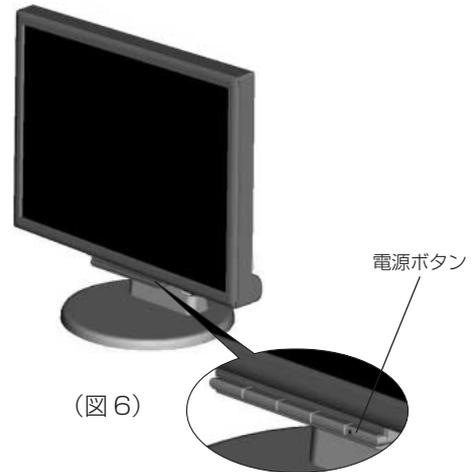
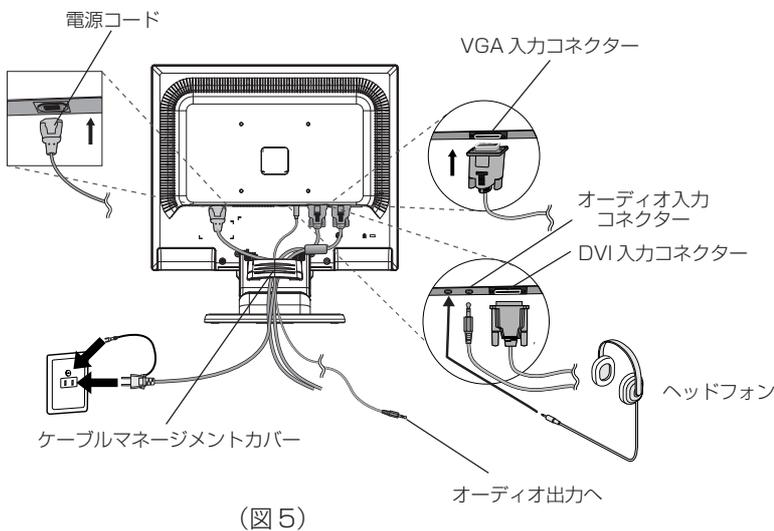
警告

- ・ 「安全のために必ず守ること」をよく読んで、正しく安全にご使用ください。

お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

6. アースリード線を接地(アース接続)する。(日本用)電源プラグを電源コンセントに接続する。
7. 本機、およびコンピューターの電源を入れてください。(図6)



7. ノータッチオートアジャスト機能(NTAA: No Touch Auto Adjust)ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。(アナログ接続のみ)さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。(P8)

お願い

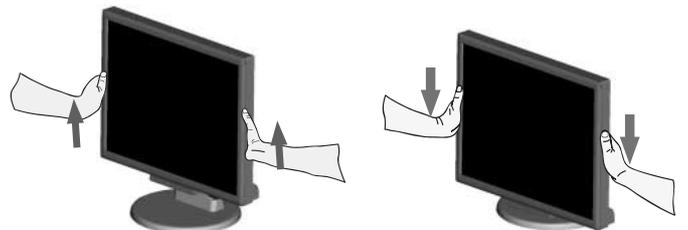
- 電源が入らないなどの問題が発生した場合には「困ったときには」(P15)をご覧ください。

高さを調節する

本体の両端をしっかりと持ち、上下にスライドさせ、見やすい高さに調節します。

注意

- ・ 高さ調節をする場合は、本体とスタンドの間に指を挟まないよう、ご注意ください。

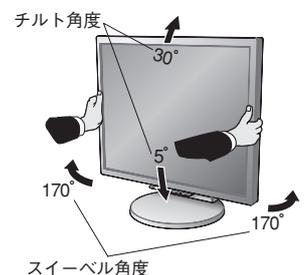


角度を変える

本体を両手で支えて、液晶画面を押さないようにして画面角度、向きを調節します。

注意

- ・ 角度、向きを調節をする場合は、本体とスタンドの間に指を挟まないよう、ご注意ください。



スタンドの取り外し方

スタンドを外す際は、以下の手順でおこなってください

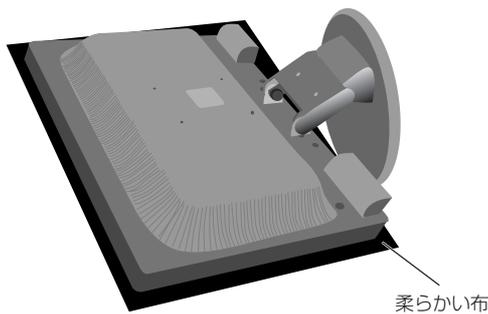
1. 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから電源ケーブル、信号ケーブルを取り外します。
2. スタンドと床が平行になるように柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置きます。(図7)
3. スタンドを取り付けている4本のネジを取り外します。(図8)
4. 電源コードと信号ケーブルを本体背面に差し込みます。(図9)
5. スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。

⚠ 注意

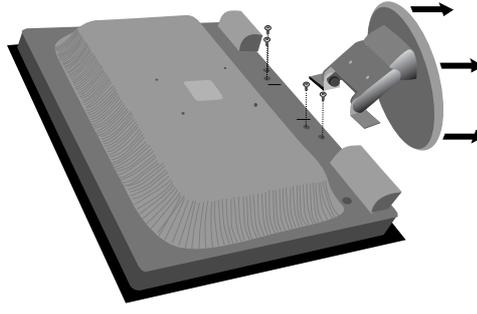
- 必ずVESA規格に準拠した取付金具を使用してください。

⚠ 注意

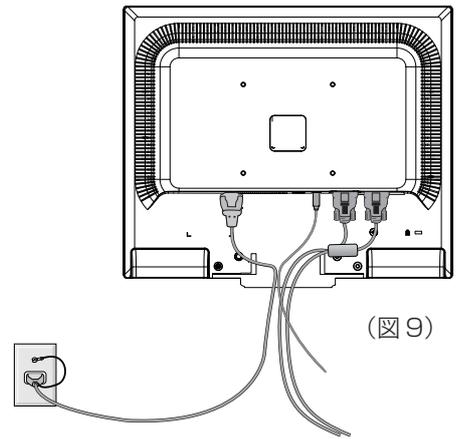
- スタンド取り扱い時には指をはさまないように気をつけてください。けがの原因となることがあります。



(図7)



(図8)



(図9)

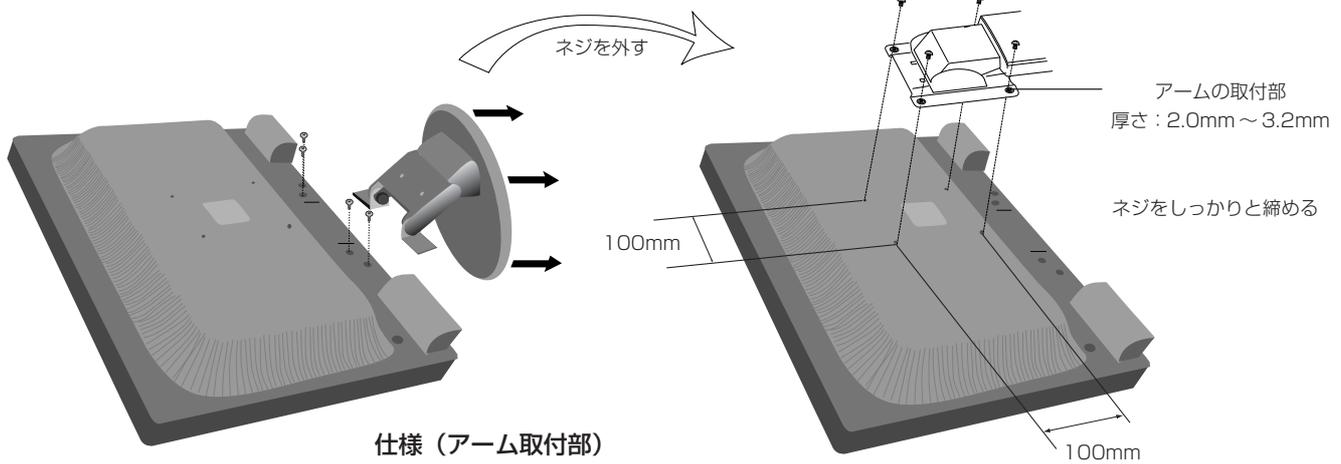
アームの取付け方

市販のアームを取り付ける際は、以下の要領で取り付けてください。

スタンド取り付けに使用していた4本のネジを使ってアームを取り付けてください。アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。(本機のディスプレイ部の重量はLCD205WXM: 6.0kg、LCD225WXM: 6.3kgです。)

⚠ 注意

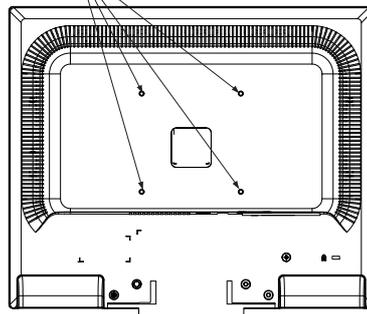
- 必ずVESA規格に準拠したアームを使用してください。



仕様 (アーム取付部)

M4ネジ

ネジ穴の深さ: 8.5mm (最大)
指定のネジ以外をご使用の場合はネジの長さをご確認ください。



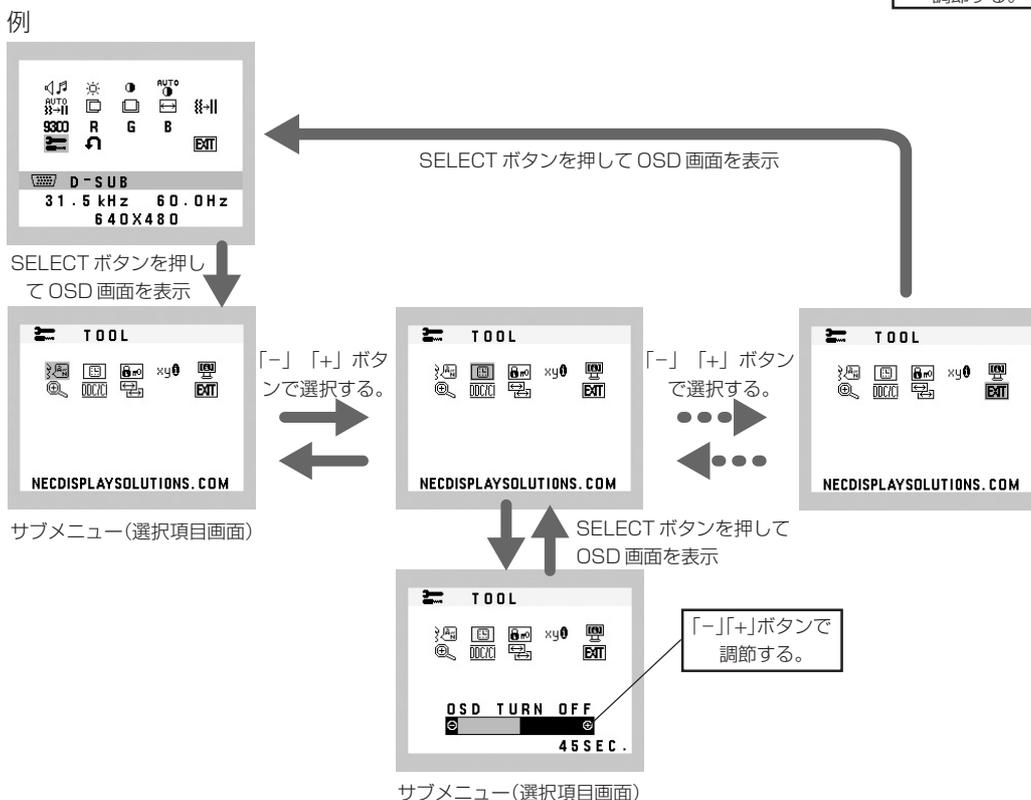
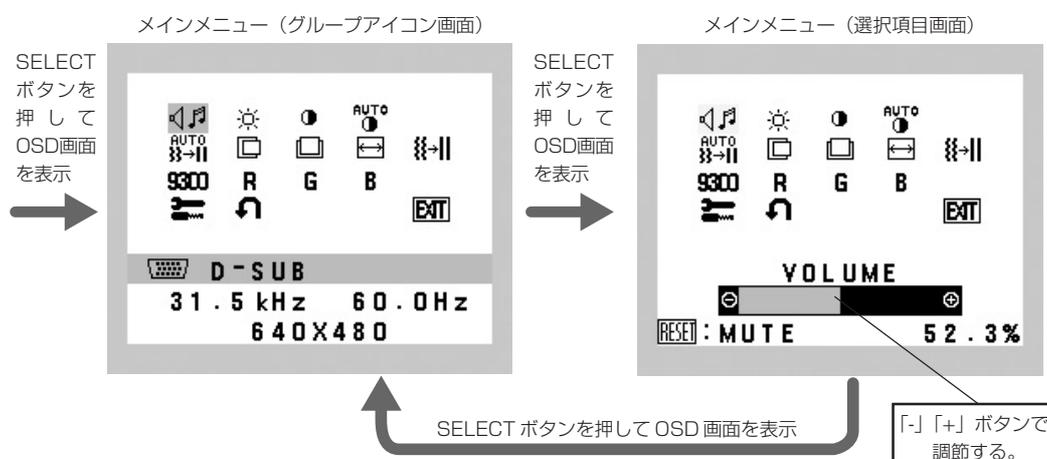
画面調節 (OSD 機能)

本機には画面の調節が簡単にできる OSD (On screen Display) 機能がついています。

1. OSD ボタンの基本操作

ボタン	SELECT	-	+	1<->2 / RESET
OSD 画面が表示されていない	OSD画面を表示する	BRIGHTNESS調節画面を表示します	VOLUME調節画面を表示します。	信号コネクターを選択する
OSD 画面が表示されている (グループアイコン画面)	選択項目画面に入る	カーソルを左に移動させる	カーソルを右に移動させる	
OSD 画面が表示されている (選択項目画面)	グループアイコン画面に戻る	「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。選択項目のカーソルを左に移動させる	「SELECT」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面に調節します。選択項目のカーソルを右に移動させる	現在表示中のメニュー内の項目のリセット画面を表示します。VOLUME 調節画面では MUTE のオン/オフを選択できます。

2. OSD 機能について



 **VOLUME**

スピーカーまたはヘッドフォンの音量を調節します。「1 ↔ 2/RESET」ボタンを押すと、MUTE(消音)状態になります。もう一度「1 ↔ 2/RESET」ボタンを押すと、MUTE(消音)状態はOFFになります。

 **BRIGHTNESS**

画面の明るさを調節します。

 **CONTRAST**

コントラストを調節します。

 **AUTO CONTRAST (アナログ接続のみ)**

コントラストを自動調節します。

 **AUTO ADJUST (アナログ接続のみ)**

左右、上下方向の表示位置、水平サイズや位相を自動調節します。

 **LEFT/RIGHT (アナログ接続のみ)**

左右方向の表示位置を調節します。

 **DOWN/UP (アナログ接続のみ)**

上下方向の表示位置を調節します。

 **H. SIZE (アナログ接続のみ)**

画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあってないときに調節します。

 **FINE (アナログ接続のみ)**

画面に横方向のノイズが表示されるときに調節します。また、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしないときに使用します。

9300 COLOR CONTROL SYSTEMS

色を調節します。あらかじめ設定されている色の設定値を選択します。
設定されている色(9300 7500 sRGB USER NATIVE)がアイコンで表示されます。

R COLOR RED

赤色を調節します。

G COLOR GREEN

緑色を調節します。

B COLOR BLUE

青色を調節します。

 **TOOL**

アイコンを選択し、SELECTボタンを押すとサブメニューに切り替わります。

 **FACTORY PRESET**

VOLUME、BRIGHTNESS、CONTRAST、LEFT/RIGHT、DOWN/UP、H. SIZE、FINE、COLOR CONTROL SYSTEMS、OSD TURN OFF、EXPANSION、DDC/CIを出荷時の状態に戻します。

 **EXIT**

OSD画面/サブメニューを消します。

 **LANGUAGE**

OSD画面の表示言語を切り替えます。

OSD TURN OFF

OSD画面を表示させたあと、設定された時間になるとOSD画面が自動的に消えるようにする機能です。10秒から120秒まで、5秒ごとの設定が可能です。

OSD LOCK OUT

OSD LOCK OUT画面を表示している状態で、操作をおこないます。

誤って調節してしまうことを防ぐためのOSD画面操作禁止を設定、解除できます。OSDロック状態でも、VOLUME、BRIGHTNESS、CONTRASTは調節可能です。

●OSD画面の操作をロックする

「1 ↔ 2/RESET」ボタンを押しながら「+」ボタンを押すと、OSD がロックされます。

●ロックを解除する

OSD画面が表示されている状態で、「1 ↔ 2/RESET」ボタンを押しながら「+」ボタンを押すとロックが解除されます。

RESOLUTION NOTIFIER

最適の解像度以外の信号を入力している場合、推奨信号の案内画面を表示する機能をオン／オフします。

EXPANSION

自動的に表示画面を拡大します。

FULL：画面表示を画面全体に拡大します。

ASPECT：縦横の比率を変えずに画面を拡大します。

MONITOR INFO

MODEL(型名)とSERIAL NUMBER(製造番号)を表示します。

DDC/CI

DDC/CI機能をオン／オフします。

INPUT RESOLUTION (アナログ接続のみ)

入力信号を選択します。

垂直解像度が768の場合： 1024 x 768, 1280 x 768, 1360 x 768 から選択します。

垂直解像度が1050の場合： 1400 x 1050, 1680 x 1050 から選択します。

OSD 注意画面

以下のような注意画面が表示されます。SELECTボタンを押すと、注意画面は消えます。

NO SIGNAL： 液晶ディスプレイに信号が入力されていません。

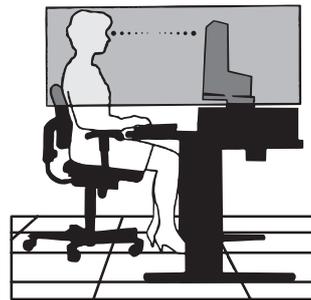
RESOLUTION NOTIFIER： 推奨解像度以外で使用中に表示されます。TOOLのRESOLUTION NOTIFIERでこの画面を表示しないように設定できます。

OUT OF RANGE： 液晶ディスプレイが表示可能な範囲を超えた信号が入力されています。

推奨使用方法

液晶ディスプレイを正しい位置に置いて正しく調節することで、目、肩および首の疲労を軽減することができます。液晶ディスプレイの前にすわる際には以下の点を確認してください。

- ・ 最適な性能を得るためには、ウォームアップのため20分間の余裕をもたせるようにしてください。
- ・ 画面の上部が目線か目線より少し下にくるようにモニターの高さを調節します。画面の中央を見たときに、目線がわずかに下がるようにします。
- ・ モニターは、目の位置から40センチ以上離し、また70センチ以上離れない位置に設置します。目からモニターまでの最適な距離は50センチです。
- ・ 6メートル以上離れたものを定期的に見るようにして、目を休ませてください。時々、まばたきをするようにしてください。
- ・ 画面のぎらつきや反射を最小限に抑えるため、窓などの光源に対して90度になるようにモニターを設置します。天井の照明が画面上に反射しないよう、モニターの傾きを調節します。
- ・ 光の反射で画面が見にくい場合には、ぎらつき防止フィルタを使用してください。
- ・ ほこりの付かない表面の滑らかな布を使ってLCDモニターの表面を拭いてください。クリーニング溶剤もしくはガラスクリーナーの使用は避けてください。
- ・ 画面が見やすくなるよう、モニターの輝度およびコントラスト制御を調節します。
- ・ 文書フォルダーは画面の近くに置いて使用してください。
- ・ より頻繁に見るもの（画面もしくは参照資料）が直接目の前にくるように配置することで、キーボード入力中の頭の動きを最小限に抑えることができます。
- ・ 画面の焼き付き（残像効果）を防止するため、長時間にわたって固定したパターンを表示することは避けてください。
- ・ 定期的に眼科検診を受けてください。



お知らせ

人間工学上の利点を最大限に発揮させるため、以下を推奨します。

- ・ 標準信号を用いて、プリセットされた画面サイズ・位置にて使用ください。
- ・ あらかじめ設定されている色を使用ください。
- ・ リフレッシュレート60～75Hzのノンインターレース信号にて使用ください。
- ・ 暗い背景上の青の原色表示は見にくく、又、コントラスト不足による目の疲労を引き起こす恐れがあるため、使用はお控えください。

仕様

		液晶ディスプレイ LCD205WXM	備考
パネル	表示サイズ 表示画素数	20.1 型 (51.1cm) 1680 x 1050	アクティブマトリックス方式カラー TFT 液晶 輝度 (標準値) 300cd/m ² コントラスト比 (標準値) 1000 : 1 応答速度 (標準値) 5 ms.
入力信号	PC入力 ビデオ信号 同期信号 オーディオ入力	アナログRGB セパレート同期信号 (TTL) ステレオミニジャック 500mV rms 入力インピーダンス 20K Ω	デジタルRGB
ヘッドフォン出力		ステレオミニジャック インピーダンス 32 Ω	
表示色	アナログ入力:	1677万色	ディスプレイカードによる
走査周波数	水平周波数 垂直周波数	31.5 kHz ~ 81.1 kHz 56 Hz ~ 75Hz	自動 自動
視野角 (標準)	左/右 上/下	-80° / +80° (CR>10), -85° / +85° (CR>5) -75° / +85° (CR>10), -85° / +85° (CR>5)	
推奨解像度		720 x 400 ^{*1} @ 70 Hz 640 x 480 ^{*1} @ 60 Hz to 75 800 x 600 ^{*1} @ 56 Hz to 75 Hz 832 x 624 ^{*1} @ 75 Hz 1024 x 768 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1280 x 768 ^{*1} @ 60 Hz 1152 x 864 ^{*1} @ 75 Hz 1152 x 870 ^{*1} @ 75 Hz 1280 x 960 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1280 x 1024 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1360 x 768 ^{*1} @ 60 Hz 1400 x 1050 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1440 x 900 ^{*1} @ 60 Hz to 75 Hz 1680 x 1050 @ 60 Hz 推奨解像度	コンピュータによってはサポートされていない 信号もあります。
有効表示領域	水平 垂直	433.4mm 270.9mm	
スピーカー	音声出力	1.0 W + 1.0 W	
電源入力		AC 100 - 240 V 50/60 Hz	
消費電力		45W	
寸法		471.4 mm(W) x 360.9 - 410.9 mm(H) x 260.0 mm(D) (スタンドあり) 471.4 mm(W) x 320.4 mm(H) x 80.0 mm(D) (スタンドなし)	
質量	スタンドあり スタンドなし	7.5kg 6.0kg	
使用環境条件	温度 湿度 高度	5℃ ~ 35℃ 30% ~ 80% (結露のないこと) 0 ~ 3.048m	
保管環境条件	温度 湿度 高度	-10℃ ~ 60℃ 10% ~ 85% (結露のないこと) 0 ~ 12.192m	

※ 1 : 入力される信号の解像度の信号によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

お知らせ : ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

		液晶ディスプレイ LCD225WXM	備考
パネル	表示サイズ 表示画素数	22.0型 (55.9cm) 1680 x 1050	アクティブマトリックス方式カラー TFT 液晶 輝度 (標準値) 300cd/m ² コントラスト比 (標準値) 1000 : 1 応答速度 (標準値) 5 ms.
入力信号	PC入力 ビデオ信号 同期信号 オーディオ入力	アナログRGB セパレート同期信号 (TTL) ステレオミニジャック 500mV rms 入力インピーダンス 20K Ω	デジタルRGB
ヘッドフォン出力		ステレオミニジャック インピーダンス 32 Ω	
表示色	アナログ入力:	1677万色	ディスプレイカードによる
走査周波数	水平周波数 垂直周波数	31.5 kHz ~ 81.1 kHz 56 Hz ~ 75Hz	自動 自動
視野角 (標準)	左/右 上/下	-80° / +80° (CR>10), -88° / +88° (CR>5) -80° / +80° (CR>10), -88° / +88° (CR>5)	
推奨解像度		720 x 400 ^{*1} @ 70 Hz 640 x 480 ^{*1} @ 60 Hz to 75 800 x 600 ^{*1} @ 56 Hz to 75 Hz 832 x 624 ^{*1} @ 75 Hz 1024 x 768 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1280 x 768 ^{*1} @ 60 Hz 1152 x 864 ^{*1} @ 75 Hz 1152 x 870 ^{*1} @ 75 Hz 1280 x 960 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1280 x 1024 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1360 x 768 ^{*1} @ 60 Hz 1400 x 1050 ^{*1} @ 60 Hz to 75Hz 1440 x 900 ^{*1} @ 60 Hz to 75 Hz 1680 x 1050 @ 60 Hz 推奨解像度	コンピュータによってはサポートされていない 信号もあります。
有効表示領域	水平 垂直	473.8mm 296.1mm	
スピーカー	音声出力	1.0 W + 1.0 W	
電源入力		AC 100 - 240 V 50/60 Hz	
消費電力		48W	
寸法		505.7 mm(W) x 384.6 - 434.6 mm(H) x 260.0 mm(D) (スタンドあり) 505.7 mm(W) x 344.1 mm(H) x 76.7 mm(D) (スタンドなし)	
質量	スタンドあり スタンドなし	7.8kg 6.3kg	
使用環境条件	温度 湿度 高度	5℃ ~ 35℃ 30% ~ 80% (結露のないこと) 0 ~ 3.048m	
保管環境条件	温度 湿度 高度	-10℃ ~ 60℃ 10% ~ 85% (結露のないこと) 0 ~ 12.192m	

※ 1 : 入力される信号の解像度の信号によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。

お知らせ : ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

その他の機能について

ここでは、本機の OSD 機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1680×1050より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。OSD画面の注意画面を表示するとともに「簡易表示機能」により画面を縮小表示しますので、他の高解像度ディスプレイを接続することなく、本機が対応する解像度にコンピューターの設定を変更することができます。

お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。
- 75Hzより高い垂直同期信号では動作しません。

Plug&Play 機能

VESAのDDC (Display Data Channel) 2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能 (NTAA: No Touch Auto Adjust) (800 × 600以上の解像度のみ)

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。(アナログ接続のみ)

自動入力選択機能 (2系統入力時)

ビデオ信号の入力の有無によって自動的にビデオ信号の入力がある方を表示する機能です。2台のコンピューターを本機につなぎ、同時に使用している場合、1 ↔ 2/RESET ボタンを押さなくても、現在表示中のコンピューターの電源が切れると自動的にもう一方のコンピューターの画面に切り替わります。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力		電源ランプ
	LCD205WXM	LCD225WXM	
通常動作時	45W	48W	緑色点灯
	2W以下		
電源ボタンOFF時	1W以下		点灯なし

水平または垂直同期信号が OFF 状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号 (R, G, B) が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。画面が復帰しない場合またはパワーマネージメント機能のないコンピューターと接続して使用の場合、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

困ったときには

故障かな? と思ったら...

このようなときは、チェックしてください。

● 画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある

液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。

● 画面を切り換えても前の画面の像が薄く残っている

長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は1日程度で自然に消えます。

● 画面に「NO SIGNAL」が表示された

- ① 信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。
- ② 信号ケーブルが断線していないか確認してください。
- ③ コンピューターの電源が切れていないか確認してください。
- ④ コンピューターのパワーマネジメント機能が作動していないか確認してください。
(マウスを動かすかキーボードのキーを押してください)コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

● 画面に「OUT OF RANGE」が表示された

本機に適切な信号が入力されているか確認してください。
入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。
コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

● 画面に「RESOLUTION NOTIFIER」が表示された

コンピューター本体の解像度を 1680 x 1050 にしてください。
そのままの解像度をお使いでこれを表示させたくない場合は、OSD 画面の TOOL で RESOLUTION NOTIFIER をオフ（非表示）に設定してください。

● 画面がちらつく

- ① 分配器を使用している場合は、分配器を中継せず、コンピューターと直に接続してください。
- ② 信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。

● 表示がおかしい

- 次のような状態は、本液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。
- ・ 表示内容によっては、画面表示の明るさにムラが生じることがあります。
 - ・ 表示内容によっては、画面に薄い縦縞の陰が見えることがあります。
 - ・ 細かい模様を表示すると、表示にちらつきやモアレを生じることがあります。
 - ・ 1680 x 1050 以外の解像度の画像を表示すると画像の線の太さなどがぼやける場合があります。
 - ・ 表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間(約30分以上)表示すると表示エリア外の非表示部分に残像が生じることがあります。
 - ・ 視野角（画面を見る角度）によっては、白色点の色味の変化が大きくなります。

● 残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えるようにしてください。

● 画面に何も映らない

- ・ 電源ランプが点灯しない
 - ① 電源ボタンを入れてください。
 - ② 電源コードを正しく接続してください。
 - ③ 電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。
 - ④ 電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れてください。
- ・ 電源ランプが緑色に点灯している
 - ① OSD 画面を表示してみてください。OSD 画面が表示されれば本機は正常です。
 - ② コンピューターとの接続を確認してください。
- ・ 電源ランプが橙色に点灯している
 - ① パワーマネジメント機能が作動していると画面が表示されません。キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かしてください。
 - ② 信号ケーブルを正しく接続してください。
 - ③ 変換アダプターを使用している場合は、変換アダプターを正しく接続してください。
 - ④ コンピューターの電源が入っているか確認してください。

● 画面が暗くなった、ちらつく、表示しなくなった

液晶ディスプレイに使用している蛍光管(バックライト)には寿命があります。正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになると、表示しなくなった場合は新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

● スピーカーから音が出ない

オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されているか確認してください。
音量 (VOLUME) が最小になっていないか確認してください。
消音状態 (MUTE) になっていないか確認してください。

本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)(日本用)

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい商品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社インターネットホームページをご覧ください。

<http://www.nec-display.com>

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお申し込みは下記へお願いします。

家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
情報機器リサイクルセンター	日本電気株式会社 / NEC ロジスティクス株式会社
TEL 03-3455-6107 URL http://www.pc-eco.jp	URL http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html
受付時間 土・日・祭を除く 9:00～17:00 休日は、土曜・日曜・祭日及び年末年始等の両社の所定休日とさせていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている商品^{*}は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

※ “PCリサイクル”の表示のない商品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きますので、あらかじめご了承ください。

※ 本機をご購入いただいた個人ユーザー様は同梱されている申し込みハガキにてお申込みいただくことにより、無償でPCリサイクルマークを提供いたします。

なお、法人ユーザー様がPCリサイクルマークを添付された商品を排出される場合でも産業廃棄物の扱いとなることに変わりはありません。ご注意ください。

詳細は弊社ホームページ (<http://www.nec-display.com/environment/appli.html>) をご参照ください。

保証とアフターサービス(日本用)

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口へご相談ください。

修理受付 / アフターサービス窓口

個人ユーザー様の窓口	法人ユーザー様の窓口
121 コンタクトセンター	NECビジネスPC修理受付センター
フリーコール：0120-977-121	フリーコール：0120-00-8283
携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用できないお客様はこちらの番号へおかけください。 03-6670-6000 (通話料お客様負担)	携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211 (通話料お客様負担)
受付時間：24時間365日受付	受付時間：月～金 9:00～18:00 土曜、日曜、国民の祝日、法律に定める休日、NEC規定の休日 (12月29日～1月3日、4月30日～5月2日)を除く

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
- 型名：LCD205WXM / LCD225WXM
- ご住所（付近の目標など）
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 電話番号
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 品名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 購入年月日または使用年数